

第 25 期 第 11 回環境学委員会 環境思想・環境教育分科会 議事要旨

日時：2023 年 5 月 13 日（土）10:00～11:00

会場：オンライン会議

参加者（敬称略・五十音順）：井上真理子，工藤由貴子，河野哲也，小崎隆，関礼子，豊田光世，日置光久，馬奈木俊介，氷見山幸夫，

欠席：井上真，蟹江憲史，北村友人，山口しのぶ

オブザーバー：河村賢治，奇二正彦，坂本昭裕，中村和彦，土方圭，北見靖直

*委員 13 名中 9 名の出席により会議は成立した。

議題等

審議事項

1. 環境教育関連学術団体との連携について

本分科会と環境教育関連の学術団体の連携について検討するために、以下の方々から学会の方針や課題について話題提供をいただいた。環境教育の分野において、さまざまな学会との横のつながりを構築すること、また学会と日本学術会議との連携を深めていくことの重要性について共通理解を得た。次期の分科会での課題とすることが確認された。

- 1) 日本環境教育学会・代表理事／会長 中村和彦氏（東京大学大学院新領域創成科学研究科）
- 2) 日本野外教育学会・理事長 坂本昭裕氏（筑波大学体育学系）
- 3) 立教大学 ESD 研究所・所長 河村賢治氏（立教大学法学部）

報告事項

1. 議事録の確認

関委員長より、第 8 回議事概要を回覧・確認後に HP にて公開したとの報告があった。

2. 環境教育における体験の再検討小委員会報告

井上委員より、小委員会のこれまでの取り組みと、本分科会後に開催されるシンポジウムについて説明があった。シンポジウムの内容をもとに、出版物等のさらなる情報発信の可能性について検討していることについて報告があった。

3. 環境教育の思想的アプローチ小委員会報告

豊田委員より、小委員会の成果報告の場として、シンポジウムを 7 月 23 日に企画している旨報告があった。

4. その他

工藤委員より、日本学術会議の見解「初等・中等教育におけるリスク教育の推進」の査読過程について報告があり、本分科会からの意見も参考に校正作業を進めている旨報告があった。

配布資料1：「日本環境教育学会の近況と課題意識」（中村和彦氏）（非公開資料）

配布資料2：公開シンポジウム「ニンゲン学的環境教育の提案：ローカルとグローバルのはざままで」（案）の開催について（豊田委員）